

## 特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報(事後公表)

## 【担当課：副首都推進局 事業再編担当】

議 題	副首都・大阪の確立、発展に向けた取組みについて
日 時	平成29年7月13日(木) 11時35分 ~ 12時15分
場 所	大阪市役所 会議室
出席者	(特別顧問・特別参与)：上山特別顧問、池末特別参与 (職員等)： 副首都推進局副首都企画推進担当部長、企画担当課長、課長代理、 事業再編担当課長、課長代理
論 点	都市機能の強化に向けた今後の検討の進め方について
主 な 意 見	<p>(第9回副首都推進本部会議の議論について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道や下水道は、生活インフラの基盤であり、都市機能強化の観点から重要。前回本部会議の議論を踏まえて、水道、下水道などについても、検討を進めていくべき。</li> </ul> <p>(水道)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道については、まずは、水道事業の「現状評価」を総括的にやってはどうか。</li> <li>・水道料金をはじめとするサービスや負担がどうなっていくかという住民目線での検証が大事。例えば、水道料金や経営状況などを、広域化が進んでいる東京都や神奈川県などの他府県や府内自治体間で比較することが考えられる。</li> </ul> <p>(防災)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハード面について、府域の整備の状況を、他府県とも比較しながら分析することも考えられるが、地理的状況や人口・企業の集積、想定される被害状況など違う面があるので、単純な比較は難しいと思う。</li> <li>・一方、ソフト面については、ハザードマップ作成など基礎自治体の取組みが主体となるが、広域の立場から取組みを支援することも考えられるのではないか。例えば、市町村の境界を越えたシームレスな防災避難支援なども考えられる。夜間・昼間人口の流動性を考慮して、府下全域を対象にICTを活用した防災支援なども考えられる</li> </ul>

結 論	特別顧問・特別参与のご意見を踏まえ、引き続き検討を進める。
説明等資料	
備 考	
関係所属 ( 部 課 )	